

岩手県北上市のふるさと納税の返礼品として好評頂き、お陰様で、3年連続で2億円を超える寄附を頂きました。一同、心よりお礼を申し上げます！

今年最初の大会です！
NHK【美の壺】にUTOが紹介されます。是非ご覧ください！

2月2日(金)19時30分〜NHK・BSプレミアム
再放送、2月9日(金)06時BSプレミアム
2月11日(日)23時00〜Eテレ

関満博先生の「日本の中小企業」中公新書でUTOを、取り上げていただきました。

【NHK・美の壺にUTOが登場】

暮らしの中に隠されたさまざまな美を紹介する新感覚の美術番組「美の壺」。全国放送のNHKの美術系番組に、UTOのものを作りを取り上げていただくとは、みんなで大感激です。

テーマは、「セーター」

昨年の仕事納めの、12月28日に岩手工場撮影が行われました。この日の北上は何十年ぶりの大雪で工場の外は一面の銀世界。岩手の美しい雪景色が紹介されると思います。

触つてもわからないとあの柔らかな風合がなかなか分からないカシミア。

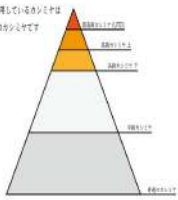
4Kでの撮影だったけど、カシミアのふんわり感がどこまで表現されているんだろうとワクワク。

そして自分たちの、あの素人コメントは、どんなになっているんだろうと、ドキドキです。

4時間に及ぶ撮影クルーの奮闘ぶりは刺激的でした。

【カシミアのグレード】

世界最高峰ってどのくらい？
のグレードなの？



カシミアと云えどピンからキリまで

繊維の色、細さ、長さ、等色々あります。

解りやすく、極々簡単にいうと、上・中・下三段階の上をさらに三段階に分けた上の上がUTOの使用す



るカシミア系です。ヨーロッパのラグジュアリーブランドなどと同クラスまたはそれより上のクラスの原料を使用しています。その上質の原料を贅沢に使って、世界でも珍しい量産ではなく一枚一枚オーダーで作成しますので、他にはないオリジナリティです。

【日本の中小企業】

中公新書 関満博著



現場が語る厳しい現実と突破口、揺らぐ日本経済の土台。少子高齢化時代の起業・経営・承継

と、ちょっと硬い内容ですが、UTOの新しい取り組みの、「衰退するアパレル部門で起業」で、売りながら作る、作りながら売るといふ、ニットのオーダーを評価して頂いた内容です。



【青山・表参道界隈】

UTOはこんな街から発信しています

「近所の福井県」

なぜか青山に恐竜がいる

青山骨董通りのUTOのすぐ近くにグラッセリアというブティックとレストランのある商業施設があります。会社を創業した二十五年前当初、福井県武生（現・越前市）にあるブティックの社長さんが来てくれました。当時、会社の始業は9時からだったのですが、「8時でも8時半でも行けるから早いほうが良い」といわれ、8時半に会社に来てもらったことがあります。

「随分早いですね、近くにお泊りですか？」と聞いたら、すぐ裏に泊まっていたからということでした。会社のすぐ裏の福井青山荘に泊まっていたということが聞いて、いつも前を通っていましたがここが宿泊出来る宿泊所があることを初めて知りました。あれから25年が経ちましたが、いまそこは宿泊所は無く、2002年に青山グッラッセリアという小さなファッションエリアに生まれ変わりました。

約2千平方メートルの敷地。大きな楠木が目印で、クリスマスシーズンになると赤い十字架のイルミネーションが出現しますが、ここの大家さんは福井県なんです。

どう云う訳か、入り口の車止めが丸い卵のよう



な石。座れない石の椅子で、変わっているなあ？と思っていました。その後、園内のベンチに恐竜のディスプレイが出来た気がしたので、福井県のシンボルが恐竜ということ、あの車止めは「恐竜の卵」で、座れない石は「恐竜の背びれだ！」と気づきました。そういえば、恐竜の足跡もあります。

福井は恐竜が売りなんです。1982年に福井県勝山市北谷で恐竜の全身骨格が発見され、2000年には福井県立恐竜博物館オープンしたそうです。

福井駅の恐竜広場には、福井で生息したといわれる3種類の恐竜ミニコメントがあるそうで、一番大きいのは6mもあるらしい。10年ぐらいは福井に行く機会が無く、見たことはありません。

福井県会館という土産物ショップはオープン当初から健在ですが、福井の有名店の荒磯亭（ありそてい）がありました。ブティックはオプティユードなどがあつたのですが、ほとんど入れ替わりました。

今は、三国温泉の料理旅館・望洋楼、イタリヤンのフランミンゴカフェや飲食のシティショップが頑張っています。

カシミア100% オフタートルネック プルオーバー



5112-1005 ¥48,600(税込)

フィットしすぎないタートルネックで、リラックスした着心地のセーター

1枚でも、ジャケットやカーディガンのインナーとしても着まわせます。ウエストシェイプで女性らしいシルエットも魅力です。

カシミア100% 両畦 ロングコート



6117-2007 ¥194,400(税込)

最高級のカシミアを贅沢に使用した両畦のロングコート。

程よい厚みと弾力のある編地で、寒い日も暖かく過ごせます。

カシミア100% ベルテッドカーディガン



66117-2009 ¥129,600(税込)

ニュアンスのある衿もとがエレガントなベルト付きカーディガン。

ヒップの隠れる安心感と、ラグラン袖のリラックスした着心地が魅力です。

NHK・美の壺

撮影顛末

カシミアとニットの話 * (59)

2017年2月 美の壺 に登場!

美術系の番組なのにバックミュージックがジャズ、
題字が紫舟、草刈正雄のわざとらしいお芝居、
魅力的な木村多江のナレーション。
全てがアートしている人気番組・美の壺

岩手県北上市で若者たちが高級カシミアを製作している
姿を紹介したいと言う事で紹介して頂けることになりました。

撮影の12月28日は岩手工場の仕事納めの日。
例年に無い大雪で、一面銀世界。
4時間の撮影は工場の周りの雪景色から始まりました。

カシミアのセーターが作られる様子が伝われば嬉しいです。
どんな感じに上がったか。心配で、楽しみです。
是非ご覧ください!

放送予定:
2月2日(金)19:30~ BSプレミアム
2月9日(金)06:00~ BSプレミアム
2月11日(日)23:00~ Eテレ



① 奮闘中の純くんは、照明と緊張で汗だく。
②③ 一面の銀世界の工場から撮影スタート
④⑤ リンキングの窪下さんのテクニックに思わず撮影チームからため息が

ふるさと納税



UTOのカシミアは岩手県北上市のふるさと納税の返礼品として好評を頂き、一昨年、昨年、今年と3年連続で約2億円の寄附を頂きました。どうしてそんなに寄附が来るの?とふるさと納税をやったことが無い人は不思議でならないようです。カシミアがもらえる?お米がもらえる?肉やカニが届く。ふるさと納税は返礼品が有名ですが、そもそもふるさと納税とはなんでしょうか?

今、人口が都会に集中し、地方は過疎化が急速に進んでいます。住民税はそこに住む人が納める税金ですから、地方で人を育てても、人がいなくなったら税金が落ちないのが地方税の宿命です。

私は長崎県の島原出身で、高校まで島原でその後は首都圏です。高校まで育ててくれた島原に地方税を収めたことはありません。

そこで、総務省が、「都市部に集まり過ぎる住民税を、なんとか地方に移動させたい」という目的で、地方税の「20%」を上限に、納税者の意思で移動させることが出来ることにしたのです。80%は住居の自治体に残りますから、「都会の税金が全部出て行く!」と言って騒ぐメディアは不勉強過ぎます。

初めの頃のふるさと納税は、寄附を貰ってもお礼状を出さずらいだったので低迷していました。しかしある自治体が、「思いもよらぬ寄附が来たので、感謝の意を込めて寄附金の一部から当地の名産品を買い上げて寄附者にお礼を送った」のがブームの始まりです。その後、「ふるさとチョイス」というウェブサイトで寄附が始まって一か所でも返礼品が親られて、そのままウェブサイトで寄附が出来るという利便性が飛躍的に増えました。このふるさと納税の可能性をいち早く見抜いた何人かの自治体の職員さんが、何億円という寄附を集めた成功例や、「人口数千人の町に何億円の寄附!」等とメディアが大きく取り上げたことで一気にブレイクしたのです。

UTOのカシミアを返礼品にする岩手県北上市では返礼品の規約を厳しく規定しています。当初の返礼率は40%前後でしたが、ある自治体は返礼率を80%にして群を抜いた寄附額を集めたり、ある自治体は金券のような商品券を出すという、なりふり構わない手段が、メディアの格好の餌食となりふるさと納税自体の存続が危ぶまれる事態になりました。そこで総務省が、返礼率30%や、高額品や家電製品の返礼の禁止など、ある程度の基準を決め一段らく。UTOは基準を決めてもらって一安心しました。

ふるさと納税の特徴として、自分の寄附の使い道を指定出来るのが素晴らしいと思います。今後は使い道で寄附を決める人も増えると思います。画期的なふるさと納税。長く続いてほしいものです。ふるさと納税は殆どの納税者が対象だと思いますので、一度検討された方が良いでしょう。

世界のホテルを旅する(五十九)

元 旅行屋のお勧め シンガポール・シンガポール マンダリン オーチャードホテル

初めてシンガポールを訪れたのは、今から40年以上前の1974年でした。そのシンガポールを訪れる前に行ったことがあったのは韓国・台湾・香港・タイだけでした。日本も含めて東洋人が作る街の特徴は、かなりごちゃごちゃしている街と思いついていたので、シンガポールに着いて、「なんてきれいな国だろう」というのが最初の印象です。整然としたオーチャードロードを歩いていると、特にあの香港の混雑とした街に比べて、あまりにもの違いに、同じ中国人が作った街に感じる感じが全くないことに驚いたのを覚えています。

シンガポールがマレーシアから独立したのは確か東京オリンピックの翌年の1965年。イスラム教徒と対立していたリークアンユー率いる中国人達が合意の上マレーシアから追放される形で独立したことを聞いて、悲劇の国という印象を持っていました。

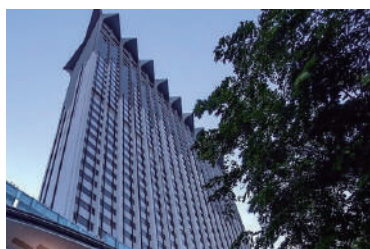
そんな経緯を聞いていたので、てっきり貧しい国と思っていたのに、「ゴミ一つないオーチャード通りの清潔さ。そして、ガムを噛みながら歩いたり、煙草の吸殻を捨てたら罰金というのを聞き驚いた記憶があります。

今では、最先進の国、ガーデンシティとして世界中から人もお金も呼び寄せる魅力を持った国ですね。「良い独裁者」と呼ばれたリー首相ですが、一国が一人のリーダーでこんなにも代わるものかと心底感心します。

このマンダリン オーチャードホテルに泊まったのは、3回目のシンガポール訪問の時で、フアツション業界の社員旅行の添乗で78年でした。

シンガポールのホテルはグレードが高く、何処に泊まったも間違いのない国でしたが、超高層の新しく建ったばかりのホテルで、ホテルに入ったとたん、高層のロビー吹き抜けの巨大な水墨画風の絵と、当時は珍しかったシースルーのエレベーターに度肝を抜かれました。

部屋割りをしてグループの皆さんが各自の部屋に引き上げたのですが、一組のお客様の部屋がエレベーターのすぐ横で昇降の度に音がするというので、フロントにクレームを入れて部屋を取り換えてもらおうように要求したのですが、どうにもならないぐらいの満室と言う事で私の部屋と交換しました。



夜、エレベーターの音は私は殆ど気にならなかったのですが、真夜中に酔っぱらって帰ってくる人が多く、その人達の話し声が大きく何度も起こされました。こんな近代的なホテルなのに、あんな話し声が筒抜けに聞こえるホテルって何なんだ!起こされる度にぶつぶつ独り言を云った記憶があります。変なことが忘れられないですね。